

9月

表敬	駐日フランス大使 クリスチャン・マッセ氏
18日	表敬 カートン在日米国大使館首席公使
	表敬 メリーランド大学総長 ウィリアム・カーワン氏
	台風16号による被害状況の視察
19日	面談 民主党衆議院議員 原口一博氏 平成24年9月議会開会
20日	電子会議 ジョージ・ワシントン大学 教授 マイク・モチツキ氏
	要請 台風16号による被害に係る要請 公明党県民会議・無所属県議
21日	第67回国民体育大会沖縄県選手団団式
22日	復帰40周年記念 「第77回日本オープンゴルフ選手権競技」記者会見
24日	オスプレイ配備見直しに係る要請 防衛大臣 森本敏氏(東京)
25日	オスプレイ配備見直しに係る要請 内閣官房長官 藤村修氏(東京)
26日	要請 台風16号被害に係る要請 自民党県議
27日	要請 竹富町議会 議長 西大舛高旬氏 ほか

10月

1日	辞令交付式 商工労働部参事監/新採用職員
4日	要請 翁長政俊県議ほか那覇市選出県議団
5日	辞令交付式 沖縄県労働委員会労働者委員 要請 全国椿サミット大会長 高良文雄本部町長(ほか)
6日	「世界エイサー大会2012」開会式
7日	「世界エイサー大会2012」 創作エイサーコンテスト表彰式
	オスプレイ配備見直しに係る要請 野田佳彦内閣総理大臣(総理官邸)
9日	沖縄政策に係る関係閣僚との意見交換(総理官邸) 官房長官/外務大臣/財務大臣/防衛大臣/沖縄担当大臣 日本オープンゴルフ選手権競技プロアマ戦・前夜祭
10日	日本オープンゴルフ選手権競技チャンピオンズディナー 要請 (有)生物資源研究所 所長 根路銘国昭氏 職員の給与等に関する報告及び勧告
11日	うちなー地域づくり応援団長任命式及び 地域づくり大賞発表 要請 台風16号災害に係る早期対策について 本部町議会(ほか)
12日	第6回沖縄平和賞授賞式
14日	日本オープンゴルフ選手権競技表彰式
15日	要請 ハワイ沖縄連合会 会長 玉城・サイレス・馨氏(ほか)



目次

- ② 県政フラッシュ
- ④ 特集1
第32回 全国豊かな海づくり大会
～美ら海おきなわ大会～
- ⑥ 特集2
第41回 沖縄県芸術文化祭
- ⑧ 特集3
高校生美ら産フェア
- ⑩ 復活・再生にかける
オキナワスピリッツ 一情熱—
「わらべ唄」
- ⑫ 県の動き1
11月は
児童虐待防止推進月間です。
- ⑬ 県の動き2
第28回 りゅうぎんプレゼント
ナイスハートバザールイン沖縄
- ⑭ 情報ひろば お知らせ
- ⑯ 海を通して広がる地域の輪
「東村」

沖縄県広報誌
「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をおわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、イオンの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは
県広報課ホームページで
ご覧になれます。

美ら島沖縄 検索

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020

表紙について

守りつなげたい沖縄の自然の息吹

座間味島の海

多くの観光客を惹きつける世界屈指の透明度と美しいサンゴ礁を誇る座間味島の海。しかし、地球温暖化による海水温の上昇でサンゴの白化現象が発生して大きな問題に。自然を守るためにも、一人一人の自然環境への関心が必要です。(写真:はてるまこ)



10/11

うちなー地域づくり大賞受賞団体決定!
応援団長に琉神マブヤー任命!

仲井眞知事から任命を受け決意を表す
琉神マブヤー

復帰40周年記念事業「うちなー地域づくり大賞」の受賞団体が発表された。応募51団体の中から、大賞には、NPO法人東村観光推進協議会、特別賞には、もとぶ手作り市実行委員会、奨励賞には、国頭村安田区、米須農村再生発見事業世話役会、学生団体学生+(がくせいぱらす)が選ばれた。

発表は、「うちなー地域づくり応援団長」に任命された琉神マブヤーと仲井眞知事が行った。任命式で仲井眞知事は、「琉神マブヤーの応援で地域が元気になって面白い取組ができる」と期待感を示した。

授賞式は、うちなー地域づくりフェスタと同時開催で、11月4日(日)に那覇市ぶんかテンプス館で行われる。

9/20

日米の有識者と
第一回電子会議を開催

テレビモニター越しに意見交換を行う
仲井眞知事

9月20日、電子会議システムを利用して第一回会議を県庁内で開催した。会議には米国からジョージ・ワシントン大学のマイク・モチツキ教授、東京から政策研究大学学院大学の道下徳成准教授が参加し、テレビモニター越しに基地問題や安全保障について、仲井眞知事及び県幹部と意見交換を行った。

電子会議システムは、国際関係、安全保障等を専門とする国内外の有識者と、時間や距離に制約されることなく意見交換を行うことを目的に導入しており、会議は今後も効果的なタイミングで開催する予定。

10/12

第6回沖縄平和賞授賞式
「シャプラニール」に贈賞

「シャプラニール」の筒井事務局長、
中田代表理事(右から)と有馬選考委員会委員長(左端)

アジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人や団体を顕彰する沖縄平和賞の授賞式が名護市の万国津梁館で行われた。

今回は、バングラデシュを拠点に40年にわたって、人々が自立して社会参加するために必要な支援を続けている「シャプラニール=市民による海外協力の会」が受賞し、仲井眞知事から賞状と賞牌、副賞が贈られ、有馬選考委員会委員長から選考理由が述べられた。

仲井眞知事は「これまでの功績に対し、敬意を表する。今後も沖縄平和賞が、世界に誇れる県民の財産となるよう努めていく」と述べ、中田代表理事は「沖縄の皆様と絆を深め、その知恵と経験に学ぶ機会を与えていただいたことに、心から感謝申し上げたい」と受賞の喜びを語った。

10/5~7

世界エイサー大会2012開催!



グランプリ部門で優勝した
創作芸団レキオスと上原副知事

『世界エイサー大会2012』が10月5日から7日にかけて、奥武山公園内の県立武道館、沖縄セルラースタジアム那覇にて行われ、多くのエイサーファンが42団体による様々なエイサー演舞を楽しんだ。

「創作エイサーコンテスト」では県内外をはじめ、カナダ、インドネシア、台湾からも出場があった。グランプリ部門では創作芸団レキオス(沖縄県)が優勝し、「世界一」の称号を手に入れた。

また、「伝統エイサー部門」では、県内14の青年会による勇壮な演舞が披露され、フィナーレでは、観客も一緒にカチャーシーで盛大に大会を締めくくった。

最終日のコンテスト表彰式で主催者代表として登壇した上原副知事は、参加したエイサー団体に感謝するとともに、エイサーの益々の発展を祈念した。

そのほか同大会では、エイサーが気軽に体験できる「ワークショップ」が行われ、5日には出場団体同志の交流を深めるため「前夜祭」も行われた。

